

社会資本総合整備計画書

ナラケン カシバシ
奈良県 香芝市

平成27年8月

社会資本総合整備計画

平成27年8月5日

計画の名称	志都美地域北部（白鳳台・尼寺）地区都市再生整備計画		
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）	交付団体	香芝市
計画の目標			

大目標：既成市街地と新興市街地が混在する地域の交流による住環境の向上
 地域交流拠点の形成と緑を活用した地域の活性化
 防災拠点形成と徹底した交通安全

計画の成果目標（定量的指標）

- ・交流センター利用者数
- ・緑被率
- ・避難時間短縮率
- ・収集車通行台数

定量的指標の定義及び算定式

- ・中央公民館及び地域交流センターの年間延利用者数
- ・地域内の緑のふれあい軸における緑被の割合
- ・地域内において、一時避難地まで徒歩8分以内で行くことができる人数の割合
- ・尼寺関屋線における収集車の1日あたり通行台数

	アウトカム指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値	中間目標値	最終目標値	
	(H26)	(H29)	(H31)	
・中央公民館及び地域交流センターの年間延利用者数	78,000人/年	84,000人/年	84,000人/年	
・地域内の緑のふれあい軸における緑被の割合	20%	40%	40%	
・地域内において、一時避難地まで徒歩8分以内で行くことができる人数の割合	30%	75%	75%	
・尼寺関屋線における収集車の1日あたり通行台数	100台/日	100台/日	70台/日	

全体事業費	合計 (A+B+C)	1,589.00 百万円	A	1,589.00 百万円	B	0.00 百万円	C	0.00 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%
-------	---------------	-----------------	---	-----------------	---	-------------	---	-------------	---------------------------	------

交付対象事業

A 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
1-A-1	都市再生	一般	香芝市	直接	香芝市	志都美地域北部（白鳳台・尼寺）地区都市再生整備計画	区域面積 A=59.1ha	香芝市						329.0	
1-A-2	道路	一般	香芝市	直接	香芝市	市道改良事業	市道1-107号線・1-123号線 L=700m 市道1-122号線 L=250m 市道1-108号線 L=350m	香芝市						1,260	
合計													1,589		

B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
合計													0		

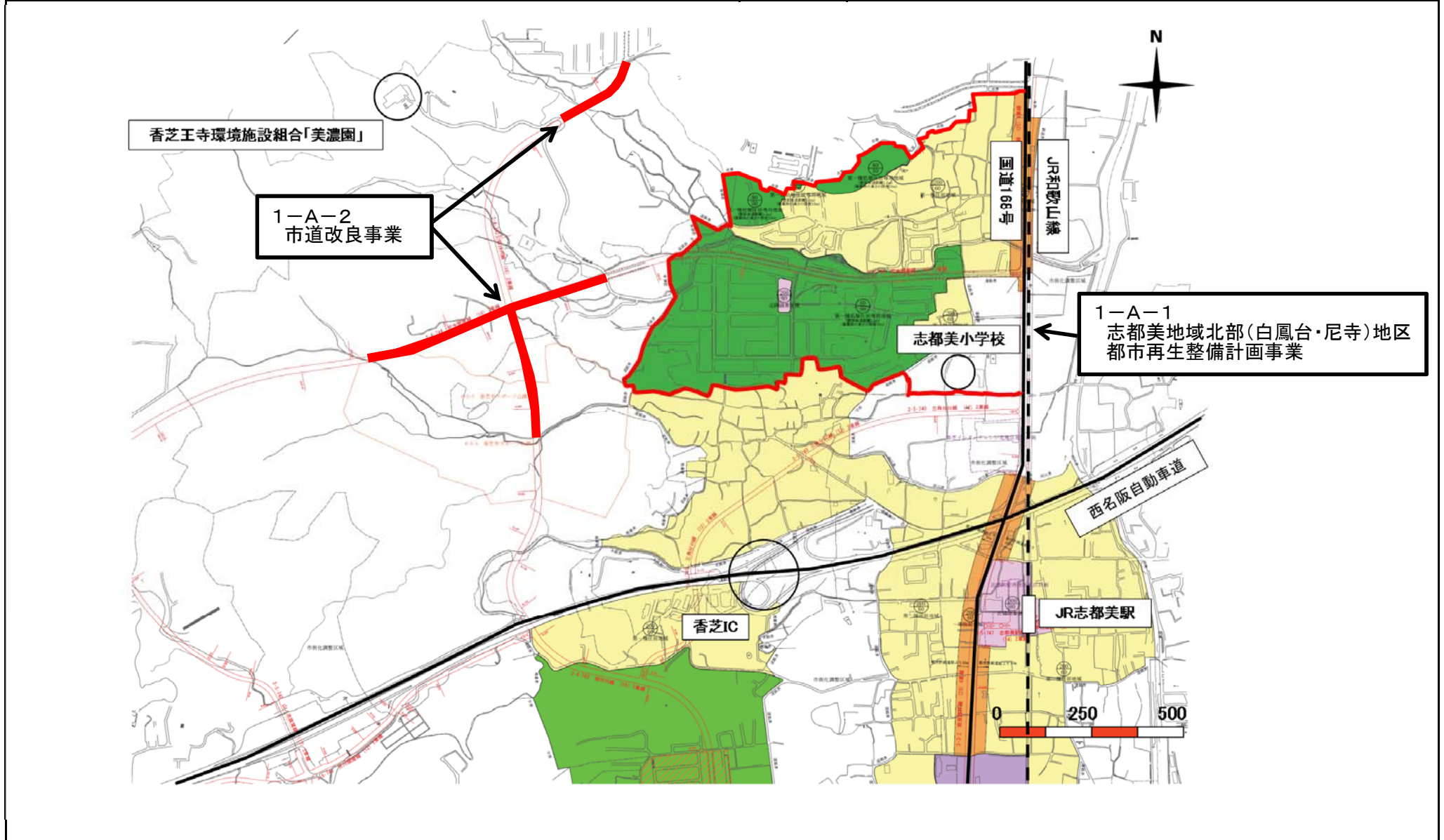
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
合計													0		

番号											備考
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

社会資本整備総合交付金 整備箇所図

計画の名称	志都美地域北部(白鳳台・尼寺)地区都市再生整備計画		
計画の期間	平成27年度～平成31年度(5年間)	交付対象	奈良県 香芝市



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称：志都美地域北部(白鳳台・尼寺)地区都市再生整備計画
事業主体名：香芝市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①計画の目標が「社会資本整備計画書」として適切なものとなっている。	○
②関連する各種計画との整合性が確保されている。	○
③数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
①事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
1)基幹事業	○
2)関連社会資本整備事業	
3)効果促進事業	
②目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
③指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
④指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
⑤事業効果は、数値、指標を用いて客観的に示されている。	○
III. 計画の実現可能性	
①計画の具体性など、事業熟度が十分である。	○
②関係する機関との連携が図られている。	○
IV. その他	
①効果促進事業は全体事業費の20%以下となっている。	